



# 港南小学校 学校だより

## 5月号

二十四節気・七十二候

### <5月の二十四節気>

- ・5月6日 立夏  
夏の気始めて立つ
- ・5月21日 小満  
陽気盛万物稍満足す

### <5月の七十二候>

- ・蛙始鳴  
かわずはじめてなく  
→蛙が鳴き始める
- ・蚯蚓出  
みみずいずる  
→蚯蚓が地上に這い出る
- ・竹笋生  
たけのこしょうず  
→筍が生えてくる
- ・蚕起食桑  
かいこおきてくわをほむ  
→蚕が桑を盛んに食べ始める
- ・紅花栄  
べにばなさかう  
→紅花が盛んに咲く
- ・麦秋至  
むぎのときいかる  
→麦が熟し麦秋となる

## 逆境を乗り越える力

校長 船木 亮作

目映いばかりの新緑に、命の力強さと躍動感を感じる季節となりました。新年度が始まり、一か月が過ぎました。子供たちは、新しい学級にも徐々に慣れ、休み時間には友達と遊ぶ姿が多く見られようになりました。保護者会でもお話しした通り、本校は都内でも有数の大規模校です。毎年のクラス替えを行うことにより、多くの友達を関わる機会がもてます。是非、一人一人の個性を發揮するとともに、友達の個性を受け入れることのできる子供に育ててくれることを願っています。

さて、始業式に二つの話をしました。一つは、まだまだ収束の見えない新型コロナウイルスの感染予防に対して、今まで以上に意識をもち「うつらない」「うつさない」ことを一人一人が気を付けてほしいということでした。四月十二日にまん延防止等重点措置が、その後、四月二十五日には緊急事態宣言も発令され、五月十一日まで自粛の期間が続きます。特に変異ウイルスは子供たちも同様に感染してしまう状況です。もう一度、ご家庭でも感染防止対策にご協力ください。

二つ目に、四月に行われた水泳のオリンピック選考会で「池江 璃花子」選手が、逆境を乗り越え、見事にオリンピックの出場権を獲得したことです。一日でも泳がないとリカバリーするのに三日かかると言われていた中、一年間のブランクを感じさせないほどの回復を見せました。勿論、まだまだ本調子

ではありませんが、今できることを一生懸命取り組んだ結果でした。その際、次のようなことを話していました。「つらくてもしんどくても努力は必ず報われる」。このニュースを見たとき、孫子の言葉を想い出しました。それは、「これ亡地に投じて然る後に存し、これを死地に陥れて然る後に生く」という言葉です。ここで、孫子は「逆境こそ人間が成長する機会」だと説いています。失敗するのが怖いからと70%程度の力で達成することができないことばかりをやっていると、それ以上の力はつきません。潜在能力を含め、100%發揮しないと乗り切れないような極限状態を経験することで人はぐんと伸びます。苦勞させるのが嫌で子供の身の丈にあつたことしかやらせないでいると逆に子供の成長の芽を摘んでしまっていることにもなってしまうのです。子供の能力を本当に伸ばそうと考えるのであれば、そのような機会を与えることも大切な子育ての一つと考えます。勿論、うまくいかないこともあります。しかし、この経験を通してやり遂げる力が身に付き、その努力は無駄になることはありません。大人になって急に「窮地」に追い込まれると中々回復することができません。しかし、子供の今だからこそ、そのような経験をさせることも時には必要になってくると思います。

新しい学年になり、子供たちは大変意欲的に過ごしています。ですからその気持ちを大切に、チャレンジしてみたいかがでしょうか。

豊かな心と清掃の関係

四月は教職員一同、組織的にあいさつ指導を繰り返し行いました。家庭、地域、学校で協力・連携して今後も力を入れて指導をしていきたいと考えております。

五月は、清掃に力を入れます。少数での実施となりますが、清掃を通して、本校の教育目標「すなおで心豊かな子」「進んで働き、協力する子」を実現していきます。

自分が普段使用している教室等の掃除をしっかり行えなければ、心が豊かとは到底言えません。イエローハット社の鍵山秀三郎氏は、毎日、社員のトイレを清掃し続けたそうです。TDLのカストーディアルは、赤ちゃんが正しいとしても大丈夫なように掃除をしているそうです。

港南小学校の子供たちも自分たちの学校に愛着をもち、積極的に清掃に取り組んでほしいと思います。また、ご家庭でも、家族の一員として役割を与え、家の中の一部を清掃するようお声掛けいただければと思います。

(生活指導主幹 小清水孝)



東京都港区港南4-3-28  
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

## 6月の主な行事予定

- 1日 (火) 耳鼻科 (1・6年・わかば)
- 2日 (水) 【下校時刻変更・基礎なし】
- 3日 (木) 歯科 (2・3年)
- 4日 (金) 合同遠足 (わかば)、給食試食会  
内科 (5年)
- 5日 (土) わくわく教室保護者会
- 7日 (月) 水泳指導始、内科 (5年)、体力調査日 (1・5年)
- 10日 (木) 歯科 (1・2年)
- 11日 (金) 教育実習終
- 15日 (火) 避難訓練、委員会活動  
脊柱側湾症検診 (5年・該当者)
- 16日 (水) 体力調査日 (3・6年)、巡回相談
- 17日 (木) 歯科 (5・6年)
- 18日 (金) 【下校時刻変更・基礎なし】4時間授業
- 21日 (月) クラブ活動
- 22日 (火) わかば合同移動教室事前健診 (わかば)
- 23日 (水) 合同移動教室 (わかば) 始
- 25日 (金) 合同移動教室 (わかば) 終
- 28日 (月) 夏季学園説明会 (5年)、社会科見学 (4年)
- 30日 (水) 【下校時刻変更】

## 5月の行事予定

1日	土	
2日	日	
3日	月	憲法記念日
4日	火	みどりの日
5日	水	こどもの日
6日	木	セーフティタイム 内科健診 (1・3年・わかば)
7日	金	離任式、掃除なし【下校時刻変更】 視力測定 (わかば)
8日	土	
9日	日	
10日	月	全校放送、委員会活動、視力測定 (6年)
11日	火	内科健診 (1・2年) 尿検査2次 (対象者)
12日	水	視力測定 (2年) 基礎なし【下校時刻変更】
13日	木	眼科健診 (1・6年)
14日	金	聴力検査 (3年)、巡回相談 SC全員面接 (4年①)、ふれあいコンサート
15日	土	
16日	日	
17日	月	全校放送、SC全員面接 (5年①) 聴力検査 (5年)、教育実習始 クラブ活動
18日	火	尿検査2次予備日、租税教室 (6年)
19日	水	眼科健診 (2・3・4・5年・わかば)
20日	木	避難訓練、内科健診 (1・3・4年) SC全員面接 (5年①)
21日	金	遠足 (1年)、わくわく教室面談開始 水道キャラバン (4年) SC全員面接 (4年②) ふれあいコンサート
22日	土	
23日	日	
24日	月	全校放送、聴力検査 (1年)、社会科見学 (6年)
25日	火	聴力検査 (わかば)
26日	水	
27日	木	全国的学力状況調査 (6年) 内科健診 (2・4・5年) プール前健康相談 (該当者)
28日	金	学校公開、セーフティ教室 (3・4年)
29日	土	学校公開、セーフティ教室 (1・2・5・6年) わくわく教室公開
30日	日	
31日	月	全校放送

## 副校長より

四月は、新しい学級、新しい友達、新しい先生、新しい教科書、新しいルール…と新しいことがたくさんありました。緊張の中で学校生活を過ごした子供たちもいたことと思います。保護者の皆様におかれましては、新年度の様々な書類の作成や教材への記名など、ご協力ありがとうございました。

今月初めにはゴールデンウィークがあり、家族と一緒に過ごす時間が増えるかと思えます。家族と過ごす楽しい時間が名残惜しく、休み明けは学校に行くのを億劫に感じる子供たちもいるかもしれません。

休み明けの七日には、離任式があります。昨年度までお世話になった先生方に会える機会です。進級して決意を新たにしたい姿を見てもらいましょう。

「おうちもいけれど、学校は学校で楽しいな」と思えるような準備をして教員は子供たちを迎えます。今度も元気に楽しく安全に過ごしましょう。

(副校長

平裕子  
久道泰司)

## 今月の生活目標

あいさつをきちんとしましょう



(令和3年4月25日現在)

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数 (人)	24	217	229	222	223	236	215	1366

# 一年生より

## 入学式

二百十八名の元気な一年生が入学しました。天候が心配されましたが、無事にグラウンドにて入学式を挙行することができました。

式の前には、教室で担任の先生の呼名に元気よく、手を挙げて返事をしていました。緊張している姿も見られましたが、子供たちの「学校って、どんなところだろう」「どんな、お勉強をするのだろう」と、興味津々の表情が印象的でした。

今年度は「A 全農長野様から、長野県が生産量日本一の「アルストロメリア」をいただきました。花言葉は「幸福」です。子供たちは、その言葉通りに、さらきらの笑顔で写真撮影を行うことができました。

これから一年間、二百十八名仲良く、楽しく、充実して過ごせるようにしていきたいと思っています。

(一年七組 栗田 純)



## 交通安全教室

高輪警察署から、警察官の方が来て下さり交通安全教室を行いました。体育館では、安全についてのDVDを見たり、紙芝居を使った説明を聞いたりした後、模擬信号と横断歩道を使って一人ずつ、渡る練習をしました。信号が青になったら、渡る前に左右を確認したり、手をしっかり挙げて渡ったりする等、どの子も意識しながら取り組むことができました。早速、その日のコース別下校から、横断歩道を渡る時には手を挙げて左右を確認しながら渡るよう声を掛け意識しながら帰りました。子供達だけで登下校する際も、今回学んだ事を生かしながら安全に歩けるようにしていきたいと思っています。

(一年一組 田之上 温子)



## 表彰

# 消防写生会

昨年度は、コロナウイルスの影響によって消防写生会が中止となってしまいましたが、今年度はよい天気の中、四月十九日に行うことができました。グラウンドに消防車と救急車が登場し、子供たちは「すごい」「カッコいい」と大興奮でした。それぞれ好きな車を選び、写生会に臨みました。

めあては、画用紙に大きく車を描くことでした。いつもより大きな画用紙に、のびのびと消防車や救急車を描くことができました。消防車のはしごや救急車のサイレンなど細かいところを観察して描く様子も見られました。

(二年五組 亀井 真希)



# 委員会 紹介

## あいさつ委員会

## 落とし物委員会

全校で一三〇〇人を超える児童が在籍する本校では、落とし物が多いことが課題となつています。また、その中には無記名の物も多く、持ち主の元へ届かないこともあります。そんな現状を変えたいという考えから、昨年度より「落とし物委員会」が誕生しました。

仕事内容は大きく分けて、

- ① 持ち帰り忘れた傘を各学級に届ける。
- ② 落とし物が減るように呼び掛ける。
- ③ 落とし物コーナーを管理する。
- ④ 記名のある落とし物を届ける。

です。子供たちが主体的に活動できるように教員も一緒に取り組み、落とし物を減らしていきたいと思っています。

(落とし物委員会担当 土屋 香澄)

あいさつ委員会は、本校で力を入れている「あいさつ」を、学校中に広めるための手立として発足した委員会です。

昨年度はコロナ禍ということもあり、大きな声であいさつはできませんでしたが、継続的な活動によって、自分からあいさつをする児童が増えてきているように感じます。

今年度は、更にあいさつが広まるようにICTを使った活動を考えております。保護者の皆様も、ぜひご家庭で挨拶を積極的にしていただいで、お子様の見本になっていただけたいと思います。そして、本校があいさつの溢れる学校になるよう目指してまいります。

(あいさつ委員会担当 出牛 柁輝)

## 情報委員会

情報委員会では、児童用パソコンやタブレット型端末などの情報機器の整備や調整を行っています。昨年度から子供たち一人一人にタブレットが支給されました。そこで、タブレットをしようとしたときにバッテリーが充電されていなかったり、起動しなかったりといったトラブルを防ぎ、子供たちがいつでも快適に学習に取り組めるようにするために活動しています。

そこで、本委員会では、タブレットを自分で管理することが難しい低学年を中心に、バッテリーの充電状況の確認や、充電器の過不足がないかなどの確認を行っています。きたいと考えています。

(情報委員会担当 飯山 稜太)

## 環境委員会

環境委員会では、環境をよりよくするために学校の中でできるエコ活動を行っています。今年度も、ペットボトルキャップ回収と古紙回収に取り組み予定です。

昨年度は、たくさんさんのキャップをお持ちいただきありがとうございました。一つでも多くのキャップを回収し、資源の再利用に取り組みたいと思いますので、今年度も引き続きご協力をお願いいたします。

古紙回収では、各学級で不要になった紙類を集め、リサイクルに出せるよう分別に取り組んでいます。今後環境委員会のみならず意見を出し合いながら、自分たちにできることを考えて取り組んでいきます。

(環境委員会担当 岡脇 由美)

## 図工専科より

図画工作科の授業では、子供たちは自分の考えを工夫して表現することにとっても意欲的で、いつも友達と関わりながら楽しく活動しています。作品づくりにも夢中になる姿や「できました！」と達成感を感じている姿は図工専科として大きな喜びです。毎日、教師の予想を超える工夫や柔軟な発想に出会うことができ、子供たちに内在する想

像力の豊かさを実感しています。校内では、学習の成果を互いに鑑賞できるよう、常時図工作品を展示しています。他学年の作品に関心をもったり、友達の表現に関心をもって感想を言い合ったりする中で、自己肯定感や多様性を尊重する心情が育てられてほしいと願っています。

(図画工作専科 金子 文香)

## 算数少数人数より

本校では、二年生から六年生の五年年にわたって算数で少数人数の学習を行っています。

各学年に算数少数人数担当二名が加わり、単元毎に算数のクラスを作ります。例えば四年生では、六学級を八クラスに分けることになります。

算数でのクラス分けは、単元の内容により様々です。習熟度別やめあて、個人の特性に合わせるものがあります。新単元に入る前に「レディネステスト」を

実施し、単元の内容をどれだけ把握しているか、日々の生活や一人一人の学習の課題に合わせてクラスを分けていきます。

習熟度別のクラスでは、視覚的に分かりやすい資料を用いたり、難問に挑戦させたりと、理解度に合わせ授業を工夫しています。今年度も一人一人の課題に合った算数の学習を進めていきます。

(算数少数人数担当 寺嶋 古都絵 木内 ゆり)